

抗 議 文

アメリカ合衆国大統領

バラク・フセイン・オバマ・ジュニア 閣下

駐日アメリカ合衆国大使館 特命全権大使

キャロライン・ケネディ 閣下

貴国は、2014年9月から10月にかけて新たなタイプの核実験を実施した事実を発表した。

今回の行為は、これまでと同様に本市をはじめとする核兵器廃絶を願う国際世論や核実験中止を求める多くの声が無視されたものであり、貴殿が表明された「核兵器なき世界の実現」に向けた取組に矛盾しており、自らが表明された言葉に責任を持ち、その実現に向けて真摯に取り組むことを強く望む。

1945年8月、広島・長崎両市は、それぞれ原爆により廃墟と化し、両市合わせて21万人を超える尊い命が奪われた。

核兵器が持つ制御不能な破壊力及び非人道的結末は、69年が経過した今も被爆者は苦しんでおり、十分に証明されている。

貴国においては、過去の歴史を改めて認識し、良識ある行動を求める。

三次市民を代表して貴国の度重なる核実験に嚴重に抗議し、今後においてすべての核実験の中止を強く求める。

平成26年（2014年）11月5日

日本国広島県三次市長 増田和俊